

平成 28 年度 第 1 回 理 事 会

日時 平成 28 年 4 月 16 日 (土) 13:30～17:00

4 月 17 日 (日) 9:00～12:00

会場 龍谷大学附属平安高等学校会議室

次 第

1 司会進行 中梶 秀則

2 参加者 折井 巧・井上 正継・坂井田米治・早川 誠司・中梶 秀則
大野 直志・平葎 正樹・小柳 勝・河田 拓也・堤谷 孝章
月成 憲一・田中 良泰・（北村泰生）

以上 13 名

3 部長挨拶 北村泰生 前部長退任の挨拶
折井 巧 新部長挨拶

4 議長選出 規約 第 26 条 3 項 より部長が議長を行う

5 議事録署名人指名 小柳 勝

6 議題

(1) 新役員について (理事長)

別紙により説明

(2) 平成 27 年度全国高体連自転車競技専門部収支決算報告 (事務局)

別紙により説明

専門委員長会の中間報告と違っている点

・各種競技会助成・・・選抜大会補助金が増えた

・強化合宿助成・・・女子合宿助成が増えた

(3) 平成 28 年度全国高体連自転車競技専門部事業計画 (事務局)

別紙により説明

・東海ブロック大会トラック競技会場 岐阜競輪場から大垣競輪場に変更

・選抜大会の会場について

今回の地震により開催が危惧されるが、現在のところ変更の考えはない。

(4) 平成 28 年度全国高体連自転車競技専門部収支予算案 (事務局)

別紙のより説明

- ・繰越金が年々多くなってきているが、平成 32 年の全国総体実施のための自己資金として留保して良いとの判断を全国高体連からいただいている。

(承認)

(5) 平成 27 年度全国高等学校選抜自転車競技大会について (競技運営部会)

- ・全体的にはうまくいった。
- ・LINE を使って競技役員同士の情報伝達をおこなったことで、役員・補助員の人数削減をおこなうとともに伝達時間の短縮が図られた。今後、全国総体も含め、タブレット端末を使用した情報伝達の導入を考えていきたい。

(6) 平成 28 年度全国高校総体女子公開競技について (理事長)

- ・今年度も従来どおり実施する。
- ・平成 27 年度選抜大会で 6 位までに入賞した選手を参加選手として選考し、参加の可否を 5 月 27 日までに理事長へ提出してもらう。
参加枠 30 人から参加の意思表示があった選抜入賞選手数を除いた人数をブロック大会の 500mTT と 2 km IP の結果で選考する。
(500mTT・KR 入賞者は同種目に、2 km IP・SC 入賞者は SC・PR へのエントリーとする)
ただし、松井優佳選手(南大隅)は、SC レース中の行為で失格となっているため、選考資料から除外する。(入賞選手からの選考除外であり、総体への出場禁止ではない)
- ・ブロック大会の結果報告は 6 月 20 日(月)までに理事長へ提出

(7) 平成 29 年度 J K A 補助事業の申請について (理事長)

別紙資料により説明

- ・これまで JCF 経由で補助申請をしてきたが、平成 29 年度から全国高体連自転車競技専門部から JKA へ直接申請することにする。これにより、高体連 3 事業のみの審査が終われば補助金の残額を支払ってもらえる。

(8) 平成 31・32・33 年度全国高等学校選抜自転車競技大会の会場地公募について (理事長)

別紙により説明

- ・応募締切は平成 28 年 9 月末。その後、立候補があれば現地調査等を経て平成 28 年度中に開催地を決定。なければ募集期間延期(年内)。
- ・西日本、できれば太平洋側が望ましい。

(9)平成 32 年度全国高校総体の会場地について (理事長)

- ・長野県実施で進めてきたが、長野県高体連から非公式ながら断りの連絡があった。しかしながらまだ正式決定ではないので、今後引き続きお願いをしてゆく。
- ・部員一人 200 円ずつ計 7 億円を運営基金として準備したい。実際の運営費については、大会運営を選抜大会並みにコンパクトに抑え、補助金等を利用すれば資金面での不安材料はない。
- ・今後も引き続き長野にお願いしてゆく。

(10)全国高校総体女子競技の正式種目申請について (理事長)

- ・5 月の登録状況を確認した上で、条件が整えば 8 月までに申請する。
※40 都道府県以上の女子選手登録
- ・参加人数については、男子を減らして女子を新たに入れる。全体数が変わらず予算的にも増えることはない。
- ・男子の種目数を減らす必要あり。
- ・昨年度申請したレスリングの女子種目は、今年度正式種目として認められた。実施は平成 30 年度から。

(11)各専門部会より (総務・競技運営・強化育成)

総務部会

別紙により総務部会長より説明・・・提案 1～4 → 承認

- ・危機管理マニュアルについて、ブロック大会・県大会レベルでも作成をお願いする。
- ・今年度中に広報部の設立をめざす。(記録の整理・HP の管理等)
- ・全国専門部の登録について

これまでの「引率、監督、チームサポートは加盟校名簿に記載されている者とする」の一文から「引率」を削除する。

強化育成部会

別紙により強化育成部会長より説明

- ・平成 28 年度全国高体連トラック合宿の期日訂正

12 月 21 日 (水)～25 日 (日) 4 泊 5 日

→ 12 月 23 日 (金)～27 日 (火) 4 泊 5 日

(12) J C F 関係 (理事長)

- ・ J C F の組織図の変更について別紙により説明

7 報告事項

(1)各専門部会及び事務局より 他

- 平葭競技運営部会員より別紙により報告
- 大野強化育成部会長より別紙により報告
- 事務局より平成30年全国総体特別基金について趣旨説明及び協力要請
- 理事長より
 - ・ヘルメットキャップは高体連主催大会ではこれまでどおり
 - ・高体連ではドーピング検査はこれまでどおりおこなわない。公認記録として認められるかどうかについてJCFに問い合わせ中

(2)意見交換会（各ブロックの検討事項や問題点等）

- 全国高校総体役員の夕食が大量に残ってしまう件について
 - ・できるだけ夕食を宿舎でとってもらうようお願いする
 - ・1泊朝食で宿泊して夕食代を日当に含めて現金で支給する
 - ・翌日の夕食の希望を事前に申し出てもらおう。など、実行委員会で工夫してもらおう。
- インターハイプログラム広告の協賛団体について、全国の大学へ依頼する。
- 来年度福島インターハイの要項は7月の理事会で審議する。
- 濟州島での合宿を平成29年度のJKA補助事業へ申請する。予算の工面がつけば今年度から実施したい。